

## 平成 29 年度の取組みについて～総合戦略に基づく施策や事業の検討状況～

## ◎『地方創生』を推進する新たな取組の検討

「親世代」から「子ども世代」、「孫世代」へとつなぐ、三世代がよりそう まちづくり

～「柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本方針～

## 1. 課題

- ・基本方針を実現できるような具体的な施策や事業への取組みが進んでいない
- ・目指すべき将来の方向性として定めた基本視点を踏まえた構築が必要  
(基本視点：①子育て世代の支援、②若者を中心とした生産年齢人口の流出抑制、③地域資源を活用した地域活性化)

## 2. 検討のポイント

- ・「親世代」：子ども世代、孫世代とのふれあい（交流）による健康維持、増進
- ・「子ども世代」：子育てと仕事を両立できる新たな働き方の提案
- ・「孫世代」：多世代とのふれあいによる「人」のつながりがもたらす『はぐくみ』  
⇒住み続けたいと思える暮らし⇒定住促進

## 3. 支援制度の活用

『地域情報化アドバイザー（総務省）派遣制度』

(1)派遣期間及び回数…平成 29 年 1 月から 3 月までに、3 回派遣

(2)具体的な支援内容

- ① ICT（テレワーク）を導入した子育て世代の新たな働き方の提案
- ②民間企業と連携することで人が集まる仕組みを提案

(3)検討事項を踏まえた上での今後の検討の方向性

- ・次のようなコンセプトのもとで、事業案を検討中

**コンセプト**

- テレワークによる母親労働拠点の設置で、雇用創出と子育て支援
- 三世代が集えるシンボリックな多世代交流の場所づくり
- 高齢者がいきいきとした活動を行い、健康寿命を延ばすことへの支援

## 4. 今後の予定

- ①～平成 29 年 5 月：事業内容及び実施場所の検討、地方創生推進交付金の申請
- ②平成 29 年 6 月：事業案に対するパブリックコメント及び議会への議案提出
- ③平成 29 年 7 月～：事業実施に向けた準備、関係機関との調整
- ④平成 30 年 1 月以降：事業の実施